



高木 広和 議員

観光政策

高島市の魅力を二層発信していくための取り組みは？

効果的な情報発信に努めてまいります。

答

問 全国百選や重要文化的景観、日本遺産の観光への活用の取り組みの現状は。

答 商工観光部長

外国人目線からも高い評価を受けており、これら観光資源の魅力を通じて、更に興味を持っていただけるよう受け入れ体制の充実を図ってまいりたいと考えています。

問 観光客と地域の食文化や地場産業をつなげるための仕組みは。

答 商工観光部長

地域の魅力をいかした着地型観光プログラムの開発に取り組んでいます。年4回発行する「旅紀行」においても、観光と物産との両輪でPRする取り組みを進めています。



問 観光資源としての素材を発掘するにあたっては、地域の方々に聞き取り、専門家やアドバイザーによって価値を評価する方法も考えられるが、取り組みの内容は。

答 商工観光部長

参加者や旅行エージェントからの意見や反応を集約するなど、新たな観光素材の可能性等についても調べています。今後もこうした機会を通じて、様々な視点からのご意見等を戴きながら、各施策に反映してまいりたいと考えています。

問 リピーターを増やすための戦略として観光ガイドや観光ボランティアの育成や取り組みは。

答 商工観光部長

高島市観光ボランティアガイド連絡協議会を設立し、人材育成や観光ボランティアガイドの確保に向けた環境整備に取り組んでいます。

問 今後の高島の魅力を一層発信していくための取り組みは。

答 商工観光部長

県が東京に開設される「首都圏情報発信拠点施設」の活用や、10月から展開される「水の文化ぐるっと博」および、JRとタイアップした「滋賀県大型観光キャンペーン」を通して、効果的な情報発信に努めてまいります。